

Tokai Fubokon Letter

シリーズ「知りたい! 隣の地域懇」

千種 秋の地域懇<11/3>



秋晴れの中、千種区の地域懇を開催しました。45名の参加者の方々と、余語宗紀先生(高校家庭科)、高橋健先生(高校数学科)、園山雅康先生(高校社会科)、梅川理絵先生(高校英語科)にご参加いただきました。

千種地域懇に初参加の高橋先生は4つの部活の顧問をしておられ、それぞれの部活のお話や、思春期の子供たちへの接し方のアドバイスをいただき、皆さんとても納得の表情でした。園山先生からはフレッシュな視点で東海生を見たお話をいただき、全員引き込まれていました。梅川先生からは事前にメールで来ていた質問に対して丁寧に回答があり、わかりやすいと評判でした。特に質問の多かった高校でのクラス分けに関しては、詳しく、かつ明るく楽しい雰囲気ですべて説明してくださり全員爆笑の連続でした。

その後は、学年ごとに分散会を行いました。直接先生とお話する機会が、参加者のみなさんからもとても良い時間だったと感想をいただきました。今回は他のいくつかの地域と合同で作成した校章入りクリアファイルが、参加者のお土産となっていて「これはいいねえー」と喜んでいただけました。父母同士そして先生方との距離を縮めるには地域懇が一番だと感じさせられる1日でした。



BIG フェスティバル<11/6>

~名古屋港ガーデン埠頭つどいの広場他~

11/6(日)の雲ひとつない秋晴れのもと、「BIG フェスティバル」が開催されました。昨年度まではモリコロパークを会場としていましたが、今年度は名古屋港ガーデン埠頭に場所を移しての実施となりました。当日は愛知県の高校生が学校の垣根を越えて集まり、学んで、歌って、踊って、弾けて、生の声を届ける一大合同文化祭が繰り広げられました。

【学校ごとのパフォーマンス】



4つのステージで他校のさまざまな部活動が華々しいステージパフォーマンスを披露するのに混じって、

東海からも、ジャグリング部、生物部、棋道部、奇術愛好会、アンリミテッドブレイカーズ、クラス有志などが、それぞれ妙技を披露したり、展示物を説明したり、縁日企画を出したりしました。

【愛知私学勢ぞろい!】

各校の生徒会代表も一斉に登壇して、愛知私学勢ぞろいの風景が現出しました。午後の「希望プロジェクト2022



「希望プロジェクト2022 総合芸術」
みんなでせいぞろい

総合芸術」では、数百人の高校生が各学校の多彩な制服や部活動のユニフォームを身にまとって整列し、ポップスの名曲THE BOOMの「風になりたい」に合わせて、鳴子をかきながら躍動感あふれるダン

スを披露しました。そして、その伴奏を務めたのが、東海・淑徳・南山女子の合同オーケストラ。格調高く、エネルギー溢る生演奏がステージ上の三線と相まって、会場全体は大きなハーモニーに包まれました。

クライマックスでは、愛知県の大村秀章知事も駆けつけ、高校生に熱いエールを送ってくださいました！コロナ禍の逆境でも仲間とつながって、高校生活を充実させようと奮闘してきた高校生たちの力強いメッセージが会場中に響き渡り、周りを取り囲む参加者から大きな拍手が送られていました。

終了後には、参加した東海生全員で写真撮影。開放的な空間で秋の一日を満喫した生徒の皆さんの笑顔が輝いていました。



東・オータムフェスティバル<11/13>

～東海中高講堂他～

11/13(日)に東海中高を会場として、「東・オータムフェスティバル」が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、450名ほどの来場者を迎えて盛大に開催することができました。オープニングの部活動発表では、東海のジャグリング部とオーケストラ部が日頃の練習の成果を披露しました。ジャグリング部は、軽



快な音楽に合わせてディアボロやデビルスティックを使ったソロ・パフォーマンスを披露し、技が決まると大きな拍手、失敗しても温かい励ましの拍手が送られました。オーケストラ

部は、チャイコフスキーの交響曲第5番第4楽章を演奏し、会場の講堂は、弦楽器・管楽器・打楽器が織りなす美しい生演奏の調べに包まれました。

「希望プロジェクト」ではTHE BOOMの名曲♪風になりたい♪合



唱&クラッピングが披露され、会場も手拍子で応援し、40秒の間奏パートでは議員の皆さんも手作りマラカスを鳴らしながら参加していただき、会場全体でひとつの曲に心を寄せる一体感が生まれました。

続く基調報告では、コロナ禍でも仲間とつながってかけがえのない学びを続けた生徒たちの姿が紹介され、さらなる助成拡充を求める力強い訴えが行われました。議員挨拶では、政木りか県議、上村みちよ市議から、オータムフェスティバル盛会への祝辞、オーケストラ部の演奏に対する賛辞が述べられ、私学教育を応援いただける旨のメッセージが届けられました。

式典終了後には校内見学ツアーが行われ、明照殿など校内数箇所めぐった後、西形久司先生による「東海と東区の、ちょっぴりシリアスで、たっぷりユニークな歴史」と題した解説が行われました。東海だけでなく、東区にあるさまざまな私学の歴史にも触れつつ、「登録有形文化財・東海中高講堂」の知られざる歴史をたっぷりとお話ししていただきました。



また、父母懇設立40周年記念のグッズ(多機能ボールペン・タオルハンカチ)

も大好評で、多数の皆さんにご購入いただきました。

東・オータムフェスの単独開催は、コロナ前以来でしたが、多数の皆さんのご来場・ご協力により盛況のうちに終えることができました。お越しいただいた皆さま、ありがとうございました。

編集後記

各地域の秋の父母懇談会やBIGフェスなど、コロナ禍の前と近い形で開催されています。感染対策を取りながらも、やはり対面で話し、多くのパフォーマンスを見ると、みなさん生き生きしていて、「こうでなくっちゃ」という気持ちにさせられます。東海中高父母懇40周年記念の年、もっと皆さんの素敵な笑顔を見たいと思います。

～今年度限定!「広報部長のつぶやき」～

※T.F.Letter 本文内容とは関係ございません

最近、空を見上げる機会が多い気がする。
皆既月食、国際宇宙ステーション、流星群、
ブルーインパルス、虹。
久しぶりに星座早見表を持って夜空を眺めてみようかな。